

103-218

問題文

この経口腸管洗浄剤を服用するにあたり、患者に対して薬剤師が服薬指導する内容として、適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 可能であるならば、1時間あたり2Lの速度で服用してもかまいません。
2. 服用しにくい場合でも、他の飲料水と一緒に服用しないでください。
3. 2Lの溶解液が多いと感じる場合、1袋を水に溶解して約1Lとし、服用してもかまいません。
4. 服用中に腹痛の症状が現れた場合には、服用を中止し、ただちに受診してください。
5. グリメピリド錠は、本剤と同時に服用してもかまいません。

解答

問218：3, 5問219：2, 4

解説

問218

選択肢 1 ですが

記述は小腸についてです。 よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

大腸は、水分やミネラル吸収を担います。「電解質は吸収されない」というのは 明らかに誤りです。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが

「抗コリン剤で便秘」を思い出せば 明らかに誤りと判断できます。 大腸の運動が抑制される というのは 便秘につながると連想できます。 そして、抗コリン剤の作用は Ach 受容体遮断です。 これは副交感神経系の抑制につながります。

以上より、副交感神経系の抑制で 大腸の運動が抑制されて便秘 とわかります。 副交感神経系の「興奮」で 大腸の運動抑制ではありません。 よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。

以上より、問218 の正解は 3,5 です。

問219

選択肢 1 ですが

本剤の投与により、腸管内圧上昇による腸管への負担があるため 短時間での投与は避けます。 よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は、正しい記述です。

他成分や香料が混ざると 浸透圧の変化などが起こりうるため避けます。

選択肢 3 ですが

濃度が変わってしまうので不適切です。 よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい記述です。

選択肢 5 ですが

糖尿病薬については、血糖コントロールの観点から 検査当日の食事摂取後より服用を行います。 よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 2,4 です。